

リハビリテーション科

室長 根本 敬 副室長 吉本 雅一



2015年11月24日～12月18日の約5週間、

ジブチ共和国よりPT研修生を迎えました

リハビリテーションとは

『Rehabilitation』とは、re（再び）-habilis（ふさわしい）-ation（にすること）を意味する。つまり、人が病気やけがなどにより望ましくない状況へ陥った際に、それをもとのふさわしい状態へと戻すことがリハビリテーションであり、また障害を背負ってしまった人がこれを受容し、新しい人生を建設していくことでもある。

展望

平成15年より厚労省推進のもと試行開始となったDPC（診断群分類包括評価）により診療報酬が包括的な定額払いとなるも、リハビリテーション料は出来高制を維持、サービスの標準化と共に治療効果が明確に求められる時代環境へと変遷した。

急性期施設の在院日数短縮が必然とされてくるなか、とりわけ急性期リハビリはこれまでのリスク管理や廃用症候群の予防を中心とした従来のリハビリに加え、専門性の高い“治療”の色を濃くした積極的アプローチと、より患者中心の医療に囲まれた環境でのQOL（生活の質）向上などを目的とした考え方が望まれる。

今後とも社会ニーズに応答する急性期リハビリの新たな取り組みと創造を目指し、『急性期から在宅ま

で患者様主体の質の高い医療を提供する』当科の理念を追及して行きたい。救急医療を主体とした全人的リハビリテーションの実践を、トータルケアの位置付けからどこまで踏み込めるか。その動機付けおよび専門職としての治療・技術の体系的確立が、我々に与えられた責務であると同時に、療法士としての存在意義とも考えている。

昨今高齢化の進展、傷病が多種多様化する中、安心して地域で暮らせることが強く求められている。医療・介護・福祉、教育が密に連携し、子供から高齢者まで、皆が安心して暮らせる社会づくり（地域包括ケアシステム）の実現を目標としている。

2016年度には診療報酬制度改定、2018年度には医療と介護報酬制度の同時改定、さらには第7次医療計画への変遷と、2020年には東京オリンピック・パラリンピックの開催も控えており、ますます多種多様で、かつ対象者や地域に求められるリハビリテーションを展開していく予定である。

診療実績

当院では理学療法・作業療法・言語聴覚療法の3部門が存在。リハビリテーション効果は各療法間ではもちろん、他部門と相互の適切な連携を保つことで相乗効果が生まれることから、“急性期から在宅まで”洗練されたチームアプローチの確立を目指すべく、日々の研鑽を行っている。

診療実績では法制度の定期的な改定の影響を受けながらも、当院の特徴たる新規患者数の増大に適応し多症例の急性期リハビリを手がけてきた。今後は各部門ごと、その職域の可能性を求め他病期のリハビリテーションの多面性をも発掘すべく尽力したい。

今年度はその一つである、「がん患者へのリハビリテーション」の充実に力を注ぎ、がんリハビリテー

ションチームを結成，厚生労働省が定める「がんのリハビリテーション研修」に医師・看護師とともに参加・研修し，チーム医療を推進した。

外傷整形外科リハビリテーションでは，過去最高数の症例数となり，下肢・上肢骨折から切断など，重症患者のリハビリテーションにも力を注いだ。

また新しい領域でもある腎臓リハビリテーションに関しても，腎臓内科医師，看護師と協業，組織的に推進してきた。人工透析患者の透析前のリハビリテーションの実施や，腎臓内科患者のリハビリテーション効果に関する研究発表など，積極的に活動した。

その他として例年通り，内科・外科・脳神経系リハビリテーションの実施，治験業務への協力，公開講座などを実施した。

2015年 リハビリテーション診療実績（年間）

総計	142,697件
理学	78,364件
作業	49,652件
言語	14,681件
入院件数 計	121,529件
理学	69,095件
作業	38,059件
言語	14,375件
外来件数 計	21,168件
理学	9,269件
作業	11,593件
言語	306件
新規件数 計	19,257件
理学	9,098件
作業	6,928件
言語	3,231件

学術業績

学会発表

1. 根本敬：理学療法の介入頻度が平均在院日数に与える影響～第1報～．神奈川県理学療法学会，神奈川，2015，3.
2. 西村彰紀：慢性腎臓病(CKD)患者の血液透析の有無によるADLの特徴 ～作業療法の取り組み～．第49回日本作業療法学会，神奈川，2015，6.
3. 桂川泰明：烏口上腕靭帯と下関節上腕靭帯複合体に着目し介入した術後遷延癒合を呈した鎖骨骨幹部骨折の一症例．第15回神奈川県作業療法学会，神奈川，2015，4.
4. 笹本佳奈：乳房切除，ティッシュエキスパンダー挿入術実施患者の作業療法～当院における経過について～．第15回神奈川県作業療法学会，神奈川，2015，4.
5. 及川莉沙：余命半年。「義足を作ってもう一度立つ」QOL向上により自宅退院が可能となった電撃性紫斑病を呈した症例．第15回神奈川県作業療法学会，神奈川，2015，4.
6. 馬場有香：当院における高齢者の橈骨遠位端骨折後のハンドセラピー成績とHand20から見たADLの傾向と課題．第27回日本ハンドセラピー学会学術集会，東京，2015，4.
7. 北原侑奈：脳出血症例における回復期退院時FIMに影響を及ぼす要因分析．脳卒中学会，広島，2015，3.
8. 杉山和寛：重度脳性麻痺患者の外科術後の呼吸器管理について．神奈川県理学療法学会，神奈川，2015，3.
9. 二瓶太一：脳梗塞患者における回復期退院時FIMが急性期に及ぼす原因分析．神奈川県脳卒中治療研究会 大磯セミナー，神奈川，2015，7.
10. 南條恵悟：要支援者・要介護者における生活習

慣と足部機能の関係. 第50回日本理学療法学会
集会, 東京, 2015, 6.

11. 福田真也: リハビリ介入の有効性について～腎
臓病患者の在院日数に関与する因子の検討～.
第90回神奈川腎研究会, 神奈川, 2015, 11.

論文発表

1. 一條幹史. Relationship between morphological
characteristics of hyoid bone and mandible in
Japanese cadavers using three-dimensional
computed tomography. Anat Sci Int, 2015.

講演会

定期講演

1. 栗原大輔: お家でできる!!腰痛体操～実践編～.
2. 水之江洋・桂川泰明: 自分で治すリハビリテー
ション“肩”～痛みなくバンザイできますか?
～
3. 南條恵悟: 自分で治すリハビリテーション“膝”
～痛みなく歩けますか?～

招聘講演

1. 桑島泰輔: 酸素療法. 第18回呼吸ケアセミナー,
東京, 2015, 7.
2. 桑島泰輔: 酸素療法. 第19回呼吸ケアセミナー,
福岡, 2015, 11.
3. 馬場有香: 当院におけるHand Therapy. 湘南外
傷外科コース手部外傷, 神奈川, 2015, 8.
4. 一條幹史: 第19回運動器系体表解剖セミナー(講
師). 第19回運動器系体表解剖セミナー, 東京,
2015, 11.